



さかそう通信

Sakaso

「ともにさかそう 笑顔とお互さまのまち 阪南」～ 自分を取り巻く人や自然などの環境と繋がり、互いに慈しみ、思いやり、感謝し、自らができる役割を担いながら【お互いさま】、市民や各種団体、事業者、市役所が協働して【ともに】、市内に花を咲き誇らせ、緑を大切に自然を守る【花を咲かせる】、産業や地域資源を活かしてまちを发展させる【まちを栄かせる】、人(人財)を大切にする【人を咲かせる】ことにより、市民みんなから笑顔がこぼれる【笑顔を咲かせる】まちにしていこう～「さかそう通信」お届けします。

こんにちは。市議会議員の上甲です。
今回のさかそう通信25号は、なかなか難しく分かりにくい財政の話を出来るだけわかりやすく、お伝えしたいと思えます。

阪南市の財政 大解剖!

まず、細かくて大変申し訳ないのですが、下のグラフを見ていただきます。

上半分が阪南市の財政の数字のうち代表的なものを4つグラフにしています。

(1) 財政調整基金

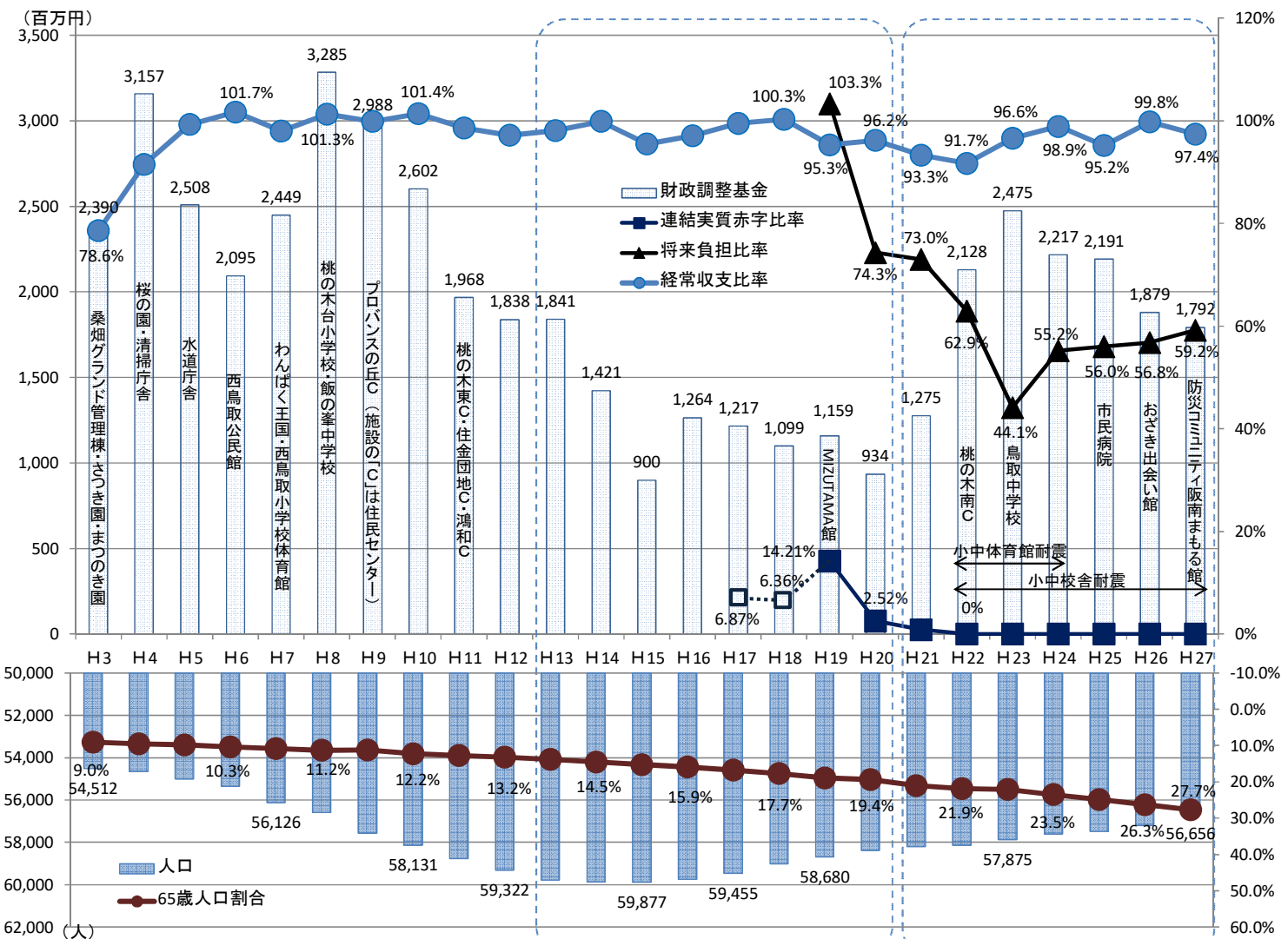
上の棒グラフ、いわゆる市の貯金ですね。平成20年より前では10億円前後でしたが、平成23年には24億円まで積み上げ、以降は年々少なくなっているとはいえ、平成27年度の決算で阪南市には18億円の貯金があることとなります。

(2) 連結実質赤字比率

平成19年から始まった指標です。数字を分かりやすくするため、私の方で2年だけ遡って計算させてもらいました。平成19年の数字、約14%は「阪南市は倒産しかけ、財政再建化団体になる」と言われた根拠となる数字で全国ワースト20位の数字でした。なお平成22年以降は0%で安定しています。

(3) 将来負担比率

これも平成19年から始まった指標です。当時100を超えていた数値は現在、50%後半です。(↓裏へ続く)





ほぼ毎日更新中！

<http://mac-joe.net/>

阪南市のお得情報、イベント、
こんなこと知りたかった、満載!!



ご希望の方には
さかそう通信
郵便配達

いたします!
右記までお問い合わせ
お願いします。

市政相談・お問い合わせ
お気軽に



上甲誠市政相談所

大阪府阪南市舞 4-30-2

電話 072-474-9211

メール mac@j.zaq.jp

泉州近隣市と比べても「阪南市は苦しいながらも、できるだけ子ども達にツケを回さない市政」を進めていることが分かります。

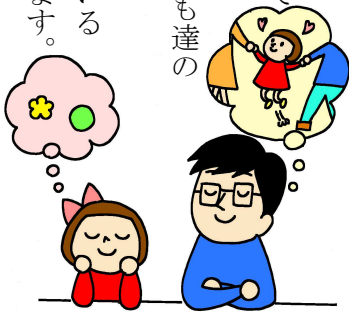
(4) 経常収支比率

丸印の折れ線グラフです。経常収支比率とは「市が一年間で使えるお金」の中で「絶対払わなければいけないお金（人件費・生活保護費・借金の返済費用など）」の割合（％）です。平成27年度決算では97.4%でした。

(5) インフラ整備

字が小さすぎて申し訳ないんですが、棒グラフの上に、その年の代表的な新築・改修事業を書きました。その時代ごとの方向性が出ていると思います。

平成20年頃と言えば、市民病院が赤字絶頂期で多くて年間4億円を超える赤字を埋めていました。市民病院は平成23年に指定管理者制度に移行、その時の臨時借金も平成27年度いっぱい返し終わりに現在では安定した運営をしています。ここ数年で財政苦しいながらも小中学校の体育館・校舎の耐震も平成27年度で整理対象校以外は完成、「地域・子ども達の安全を第一に守る」方向に舵を切っています。



(6) 人口減少・高齢化

次はグラフ下の部分です。ここでは平成3年（市制施行）以降の阪南市の人口と高齢化率を記しています。人口は平成15年をピークに減少の一途をたどり、先日発表された阪南市人口ビジョンによると、このままいくと2060年には人口3万5千人、高齢化率40%になるとしています。出生率を2.07（現状は1.08）まで上げるなどの努力をすると人口4万4千人、高齢化率31%になります。地方自治制度や社会保障制度、そして膨張資本主義を根本的に見直さなければいけません。

総合子ども館を白紙にしただらどうなるのか。

最近よく、総合子ども館を白紙にしたらどうなるのか聞かれますので（以前7月にブログでも書きましたが）お答えしたいと思います。

補助金については、平成27年度、既にいただいた建物購入の交付金2億円弱は「市内7カ所を1カ所に統合する先駆的な取組み」として認められたものなので返還しないといけません。併せて市債（建物購入費の半分は国、残り半分の90%は市債）の交付税措置の部分、約1億7千万円についても直ちに繰り上げ償還を求められます。

また、都市再構築戦略事業についても総合子ども館が中心施設なので計画廃止となり、今整備している「尾崎住民センター」の交付金、約1億2千万円も返還しなければなりません。

土地借地契約については「総合子ども館」目的での契約なので、契約の解約が必要かもしれません。

いずれにしても「白紙に戻す」ということが阪南市財政に大打撃となるでしょう。何より今後、長い将来に渡って「国」に対する信頼を失墜するところが一番のデメリットかもしれません。議会はこの3月にそれほど大きな決断をさせていただきました。

不便をおかけする方、不安を感じる方、たくさんいらつしやると思いますが、それもこれも「子ども達の安全を1日も早く確保する」ためです。私も一人の議員として良い子育て・子育て環境を作るため精一杯頑張ります。どうかご理解、ご協力のほど、よろしく申し上げます。

最後までお付き合いいただきまして、ありがとうございました。

これからも一生懸命頑張ります。ブログ・後援会も含めて今後ともよろしく申し上げます。